



こんけつ 今月のおすすめ本



『かんけり』 石川 えりこ 〈アリス館〉

ちえちゃんは、ひっこみじあんな女の子。友達にさそわれて入った「かんけり」。かんをけるのがこわくて、まだ誰も助けたことがありません。今日も、どんどんみんながおににつかまっていき、最後一人のこったちえちゃんは、みんなを助けることができるのかな？ 図書の時間の読み聞かせて大人気だった絵本です。



『マンガでわかる! 死亡ピンチからの生還図鑑』 大塚 志郎 〈宝島社〉

「日常に潜む死にやすいシチュエーションから生還する方法」を描いたマンガです。用水路、ため池、横断歩道など、みんながよく行く場所にも実は、危険がたくさん隠れています。川遊び、海遊びなど夏レジャーで起きやすい死亡事故を防ぐ知識などもたくさん紹介されています。ぜひ親子で読んでみてください！
〈読書週間で中村先生がおすすめしてくれた同人誌「生還図鑑」の単行本です！〉



『系子の体重計』 いとう みく 〈童心社〉

食べることが大好きな細川系子、クールビューティー・町田良子、おお柄な転校生・高峯理子、町田良子にあこがれる坂巻まみ、細川系子とは給食の天敵・滝島径。5人の子どものたちの平凡な日々。誰に対しても真っ正面から向き合い、しっかりと相手を見て、思ったことを口にする。大人も子どもも、じたばたしてけんめいに生きている、そんな地に足のついた読みごたえある物語です。



『ぼくは本を読んでいる。』 ひこ 田中 〈講談社〉

家の「本部屋」で見つけた、両親のどちらかが小学生のころに読んだはずの本。どうしてだかぼくは、それを親に隠れてこっそり読みたくなった——。『小公女』を読み始めたルカは、主人公にツッコミを入れつつ、両親がスマホを与えてくれない理由を聞きつつ、幼なじみや転校生と日々の雑談をこなしつつ、この本を読み終えることができるのか？

としょいん かつどう 〈図書委員の活動〉

10月から活動をスタートした後期図書委員会。日々の図書室の当番活動に加え、秋の読書週間には、先生のおすすめ本のアンケートやPOPづくり。『読書ビンゴ』の案内、しおり作り、図書委員のおすすめ本の紹介など。委員さん、それぞれ積極的にとりくんでくれました。1月の委員会では、『図書館クイズ』を作成し図書室のろう下に掲示しました。

図書室で委員さんに問題と答えを言ってくれた人に「もう1さつかりられるけん」をプレゼントしています。みなさんぜひ休み時間に図書室にチャレンジしに来てくださいね！（一人につき1日1問までです）

